総合周産期母子医療センター(小児科部門)

1. スタッフ (2018年4月1日現在)

部 長(准教授) 矢田ゆかり

(教 授) 河野 由美

医 員(助 教) 鈴木 由芽

俣野 美雪

鈴木 悠

小森 咲子

シニアレジデント 4名 小児科と兼務。

2. 新生児集中治療部の特徴

栃木県総合周産期センター二施設のうち一つとして、県で出生するハイリスク新生児を二分する形で診療している。入院する新生児の疾患は、超低出生体重児から先天異常、外科疾患など多岐にわたる。

• 認定施設

日本周産期 • 新生児医学会基幹認定施設

• 認定医

日本小児科学会認定指導医 矢田ゆかり

日本小児科学会専門医 矢田ゆかり 他5名

日本周産期新生児医学会(新生児)専門医

矢田ゆかり 他2名

3. 実績・クリニカルインディケーター

1)年間入院患者数

399名(再転科・転入4名を除く)。院内出生366名(初診時から外来観察63名、母体搬送18名、母体外来紹介283名、妊婦健診未受診2名)、院外出生33名(病院等からの搬送32名、自宅分娩1名)。

- 2)人工呼吸器管理数・率(気管挿管したもののみ)118例/399例(29.6%)。
- 3) 生存率・死亡数など

出出生体重 (BW) 別、在胎週数 (GA) 別入院数および死亡数を示す (妊婦健診未受診妊婦からの出生児 1 名は臨床所見から35週に加えた)。

GA (W)	入院	生存	死亡	生存率(%)
22	0	0	0	_
23	3	3	0	100.0
24	3	3	0	100.0
25	1	1	0	100.0
26	2	2	0	100.0
27	1	1	0	100.0
28	2	2	0	100.0
29	6	6	0	100.0
30	3	3	0	100.0
31	14	14	0	100.0

32	9	9	0	100.0
33	23	22	1	95.7
34	25	25	0	100.0
35	47	46	1	97.9
36	35	35	0	100.0
37以上	225	224	1	99.6
計	399	396	3	99.2

BW (g)	入院	生存	死亡	生存率(%)
< 500	1	1	0	100.0
< 1000	17	17	0	100.0
< 1500	17	17	0	100.0
< 2000	77	75	2	97.4
< 2500	100	99	1	99.0
≥2500	187	187	0	100.0
計	399	396	3	99.2

4) 死亡症例内訳

在胎37週	18トリソミー、心室中隔欠損、水腎・ 水尿管症など
在胎33週	新生児消化管アレルギー、壊死性腸 炎、敗血症
推定35週	重症新生児仮死、妊婦健診未受診妊婦 からの出生

5) 先天性心疾患児入院例

有意な血行動態異常を呈する中等症・重症例28例。 こども医療センター転科4例、PICU転科9例、NICU から退院13例、NICU入院中1例、入院中死亡1例。

6) 多胎入院数

112名 (28.1%)。

7) 外科症例数 (手術例のみ)

小児外科20例、眼科(光凝固)5例、小児耳鼻咽喉科2例、小児脳神経外科・小児泌尿器科・小児整形 外科がそれぞれ1例。

8) 他院への搬送

16例。15例は状態安定後に搬送元等の病院に転院。 1 例は眼科治療目的に転院。

4. 2018年の目標・事業計画等

総合周産期母子医療センターとして、産科部門との連携を一層充実させ、より重症な症例に対応する。また県内の総合周産期センターである獨協医大、および関連の地域周産期センターと協力・連携しながら、栃木県、北関東地域の周産期医療の充実を図りたい。さらに周産期・新生児医学会認定施設として、専門医の育成にも力を注ぎたい。